

質 問 書

2024 年 5 月 13 日

「(案件名)カンボジア国プノンペン都総合都市交通管理能力強化プロジェクト」

(公示日:2024 年 4 月 24 日/調達管理番号:24a00040)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	企画競争説明書 pp. 15 第 2 章 特記仕様書案 第 3 条 実施方針及び留意事項 2. 本業務に係る実施方針及び留意事項 (7)改訂 PPUTMP の方向性 5) 7 行目	「特に財務面に関しては日本及びカンボジアの財務持続性」とあるが日本の財務持続性とは、日本政府の資金協力方針という意図か。	分かりにくい表現となっております。こちらは、「特に財務面に関しては、持続性のある資金計画や事業計画の検討、…」と読み替えてください。カンボジア政府のインフラ投資に伴う資金面での持続性のみならず、民間投資が期待される場合には民間の参入も促すための事業計画(政府負担の要否も検討しながら)が必要という趣旨となります。
2	企画競争説明書 pp. 21 第 2 章 特記仕様書案 第 4 条 業務の内容 2. 本業務にかかる事項(2)プロジェクトの活動に関する業務、①成果1 1-3	「経済財務分析等」の対象は何を示すか。FS のように特定プロジェクトの EIRR や FIRR の算定を意図しているのか。	活動1-3の中では以下のような作業を意図しています。 ・ マスタープラン策定中でのシナリオ設定において代替案(例:道路強化型、公共交通優先型、バランス型等)を、do nothingケースと比較した場合の費用と便益の推計を行い、最適な選定を行うこと。マスタープランが実施された場合の経済便益を通じたマスタープラン自体の評価(概略のEIRR)。 ・ 実施に向けた財源確保の方策(考えられる選択肢)の検討。

			<p>・財務分析については、個別事業単位ではなく事業群レベル（バス全体、軌道系システムそれぞれ）を単位として、原単位レベルでの数値を用いて概算事業費、概算維持管理費等の支出を、また複数料金体系を想定して需要予測モデルを用いて収入を算出しFIRRを計算する。</p> <p>なお、優先事業の提案にあたっての同事業の定量的な評価については、民間投資を活用する場合に、公的資金をどの程度投入する必要があるかのイメージをカンボジア政府側と共有するための検討を行うことも想定します。</p>
3	<p>企画競争説明書 pp. 28 (表は pp. 26 に記載)</p> <p>第2章 特記仕様書案</p> <p>第5条 報告書等</p> <p>1. 報告書等、表 本業務で作成・提出する報告書等及び数量</p>	<p>プロGRESSレポートは日本語、英語での提出となっているが、インテリムレポート同様に和文要約と理解しているが正しいか。</p>	<p>和文要約のみで構いません。</p>
4	<p>企画競争説明書 pp. 42-</p> <p>別紙 共通留意事項 2. 選択項目</p> <p>☒他の専門家との協働</p>	<p>本プロジェクトで別途契約される長期あるいは短期専門家の現時点で想定される業務内容(案)と本契約との役割分担(案)をご教示ください。</p>	<p>あくまで現時点での想定となりますが、改定 PPUTMP の承認支援やフォローアップ、中央省庁(交通・都市)やプノンペン都をはじめとした組織間連携の強化、インフラ投資及び都市交通を巡る日常的な民間・政府系機関・団体、他ドナーの動向や情報収集を通じたプロジェクトへのインプットを TOR とすることを</p>

			検討中です。
5	<p>企画競争説明書 pp. 47 第3章 プロポーザル作成に係る留意事項 2. 業務実施上の条件、(2)業務量目途 と業務従事者構成案、1)業務量の目途</p>	<p>業務量の目途が約51.0人月で、うち本邦研修に関する業務人月1人月(定額計上に含む)であることから、本見積りに反映する業務量は約50.0人月と想定していると理解すれば良いか。また、様式4-3(要員計画)にはこの1人月を含んで記載すべきか。</p>	<p>本邦研修に関する業務人月1.0については、企画競争説明書に記載のとおり定額計上に含まれます。従って、本見積りには含まれません。 但し、4-3(要員計画)には1人月を含めて記載してください。</p>

以上